

電気通信大学 平成16年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|--------|
| 授業科目名 | 日本語とコミュニケーションA | | |
| 英文授業科目名 | Japanese Communication A | | |
| 開講年度 | 2004年度 | 開講年次 | 3, 4年次 |
| 開講学期 | 5, 7(6, 8)学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 志賀 幹郎 | | |
| 居室 | P-203 | | |

| | |
|----------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| shiga@fedu.uec.ac.jp | |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| 日本語およびコミュニケーションについて、対話と体験を通じて理解を深めることが主題です。達成目標は、・・・定めません。達成しなくても、充実すればいいです。コミュニケーションについて「充実する」こと。ということで、「充実目標」は、日本語とコミュニケーション、それ自体。 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| なし |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| なし |

| |
|---------------|
| 【教科書等】 |
| 教科書は使いません。 |

| |
|--|
| 【授業内容とその進め方】 |
| 留学生と日本人学生の混在クラスで、その混在していることを活用する活動を行います。どんな活動をするかは、最初の授業の時にみんなで決めてみましょう。みんなで決めるという活動が、最初の「日本語とコミュニケーション」の活動です。 |

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席、熱心さ、授業時やレポートににじみでているコミュニケーションに関する洞察の深さによって評価します。
たとえ洞察が浅くても、毎回出席して熱心に活動している学生は、その将来性をかいます。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜

【学生へのメッセージ】

【その他】